

ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 4 月 14 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



ハチミツを与えるのは1歳を過ぎてからにしましょう。

**1歳未満の赤ちゃんがハチミツを食べると
乳児ボツリヌス症にかかることがあります。**

今月、東京都で、ハチミツを食べたことにより乳児ボツリヌス症となった患者が死亡したことが報告されました。

どんな病気？

1歳未満の赤ちゃんに起こる、**ボツリヌス菌**による感染症です。

ボツリヌス菌の芽胞*を含む食品を食べることで発症します。

便秘や筋力の低下による脱力、ほ乳力の低下、泣き声が小さくなるなどの症状がみられます。



ボツリヌス菌

土の中などに広く生息する細菌で、そこでは熱に強い芽胞の状態で存在しています。酸素の少ない環境で増殖し、このときに、人に症状をおこす毒素を出します。

※ 芽胞（がほう）とは？

特定の菌が形づくる耐久性の高い構造のことで、植物でいうと種のような状態です。

菌が増殖に適さない環境におかれると、芽胞となって休眠状態となり、

増殖に適した環境になると、芽胞の殻から出てもとの菌の状態となり（発芽）、増殖を始めます。



なぜ赤ちゃんだけ？

1歳未満の赤ちゃんの腸内にボツリヌス菌の芽胞が入ると、**発芽・増殖して毒素を出します**。

大人の場合、腸内にボツリヌス菌の芽胞が入っても、通常、増殖することはありません。

これは、赤ちゃんでは腸内の環境（腸内細菌叢）が大人とは異なり、

ボツリヌス菌の増殖がおりやすいためと考えられています。

原因となる食品は？

主な原因食品は、**ハチミツ**です。

1歳未満の赤ちゃんには、

ハチミツやハチミツ入りの飲み物・お菓子などを食べさせないことが重要です。

はちみつ以外では、自宅の井戸水が原因と確認された例があります。

ハチミツには、ボツリヌス菌の芽胞が混入していることがあります。

ボツリヌス菌の芽胞は熱にとっても強く、通常の加熱調理では殺菌されません。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

